

Course Syllabus

JPNL250 Professional Writing in Japanese **社会人としての日本語作文**

Course Name:	Professional Writing in Japanese (社会人としての日本語作文)
First Year Available:	1 st Year
Course Code:	JPNL250
Subject Area:	Japanese Language
Class Style:	Seminar
Number of Credits:	3 credits
Semester(s) offered:	Spring and Fall semesters
Prerequisites:	Native Speakers of Japanese or JPNL300
Instructor:	Masahiro Toma

Course Description

This course aims to help students acquire high level of writing skills. Contents include academic writing, polite expressions and other writing techniques necessary to function in Japanese society. Through practicing using fixed expressions appropriately, filling in appropriate information in various documents, and creating documents including emails in situations students may encounter in the society, the course aims to equip students with not only ability to create grammatical sentences but also to create texts which are socio-culturally appropriate in both academic and business settings.

Based on previous students' feedback, classes will be conducted in group work format discussing and peer-assessing each student's writing, through which students have opportunities to analyze various texts and writing styles, and to apply their findings to their own writings.

日本語での高度な書く能力を身につけることをこのコースの目的とする。論理的な文章の作成をはじめ、待遇表現や、様々な場面で社会人として通用する文章技法を学ぶ。定型表現を適切に使用する練習や、各種文書のテンプレートを利用して適切な情報を記入する練習、ビジネス場面における依頼・断り・謝罪など受講者が将来遭遇する可能性が高い場面でのメールや文書作成などを通して、文法的に正確な文章の作成はもとより、大学および社会での社会文化的に適切な文書作成ができるようになることを目指す。

これまでの履修学生からのフィードバックをもとに、クラスでは学生3~5人で構成する小グループでのディスカッションや相互評価を行い、その結果を発表する活動を行う。これにより、学生がさまざまな文章・文体を分析する機会を得るとともに、そこでの気づき・学びを自らの文章作成に反映させることを目指す。

Course Objectives

本科目の主な目標は、大学生として、また、社会人としてさまざまな環境で効果的にコミュニケーションを取る上で必要な文章技法を学生に身につけさせることである。

全ての課題の要件を満たし、本科目を終了した学生は、次のことができるようになる。

- ・大学生・社会人として求められるレベルの論理的で明瞭な文章を作成することができる。
- ・立場や親疎、内容を反映させた社会文化的に適切な文書(電子メール、報告書、履歴書、及び履歴書等に添える自己PR文等)を作成することができる。

この目的を達成することにより、本科目は iCLA ディプロマポリシーの次の項目の達成に寄与する。

1. 日本語と英語の双方における、高度なコミュニケーション能力

JPNL250 Professional Writing in Japanese Course Rubric

Item	Evaluation				
	Excellent	Good	Satisfactory	Marginal	Fail
内容と構成	課題で求められる以上に考えられた内容・構成になっている。具体的にわかりやすい文章になっている。	課題に沿った内容・構成になっている。ほぼ具体的にわかりやすい文章になっている。	概ね課題に沿った内容・構成になっている。わかりやすさに欠ける部分がある。	概ね課題に沿った内容・構成になっているが、内容がわかりにくい。	課題に沿った内容・構成になっていない。
表記の正確さ	表記(誤字・脱字、送り仮名、書き言葉／話し言葉、文体、句読点など)のルールに関する間違いがまったくない。	表記(誤字・脱字、送り仮名、書き言葉／話し言葉、文体、句読点など)のルールに関する間違いがほとんどない。	表記(誤字・脱字、送り仮名、書き言葉／話し言葉、文体、句読点など)のルールに関する間違いがあるが、大きな間違いではない。	表記(誤字・脱字、送り仮名、書き言葉／話し言葉、文体、句読点など)のルールに関する大きな間違いがある。	表記(誤字・脱字、送り仮名、書き言葉／話し言葉、文体、句読点など)のルールを守っていない。
適切さ	社会文化的に適切であり、かつコミュニケーションをとる相手への配慮も最大限されている。	社会文化的に適切であり、かつコミュニケーションをとる相手への配慮が適切にされている。	社会文化的に概ね適切である。コミュニケーションをとる相手への配慮もある程度考えられている。	社会文化的な適切性、コミュニケーションをとる相手への配慮に少し問題がある。	社会文化的に不適切で、コミュニケーションをとる相手への配慮もない。
積極性・生涯学習の基盤とスキル	<ul style="list-style-type: none"> ・常に下のような行動が観察される; <input type="checkbox"/> 積極的に教室活動に参加する <input type="checkbox"/> 期限までに課題を提出する <input type="checkbox"/> 自己の知識、技術、能力を高める機会を自ら作り出したり追求したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・下のような行動がよく観察される; <input type="checkbox"/> 積極的に教室活動に参加する <input type="checkbox"/> 期限までに課題を提出する <input type="checkbox"/> 自己の知識、技術、能力を高める機会を自ら作り出したり追求したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・下のような行動がしばしば観察される; <input type="checkbox"/> 積極的に教室活動に参加する <input type="checkbox"/> 期限までに課題を提出する <input type="checkbox"/> 自己の知識、技術、能力を高める機会を自ら作り出したり追求したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・下のような行動が時折観察される; <input type="checkbox"/> 積極的に教室活動に参加する <input type="checkbox"/> 期限までに課題を提出する <input type="checkbox"/> 自己の知識、技術、能力を高める機会を自ら作り出したり追求したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・下のような行動がまれにしか観察されない; <input type="checkbox"/> 積極的に教室活動に参加する <input type="checkbox"/> 期限までに課題を提出する <input type="checkbox"/> 自己の知識、技術、能力を高める機会を自ら作り出したり追求したりする

Course Prerequisite and Required Study Time

日本語母語話者および日本語上級(JPNL300)終了または同等レベルの日本語能力を持つ学生を対象にする。

この科目を履修する学生は、予習・準備・復習・作文課題作成などのため、授業外に少なくとも週4時間の学習時間が必要となる。

Required Textbook and Materials

各授業ではプリントを配布する。

参考図書はクラスで適宜紹介する。

Course Schedule

第1週

(1日目)オリエンテーション・日本語文章スタイルについて
(2日目)文章タイプ別の使用語彙について

第2週

(1日目)表記・句読点
(2日目)待遇表現1

第3週

(1日目)待遇表現2
(2日目)待遇表現3

第4週

(1日目)待遇表現4
(2日目)待遇表現と電子メール作成1

第5週

(1日目)待遇表現と電子メール作成2
(2日目)待遇表現と電子メール作成3

第6週

(1日目)待遇表現と電子メール作成4
(2日目)事実と意見の区別、引用等

第7週

(1日目)曖昧な文
(2日目)分かりやすい語順

第8週

(1日目)長い文を分ける
(2日目)文のねじれ

第9週

(1日目)接続表現
(2日目)説明のコツ

第10週

(1日目)アカデミック・ライティング1
(2日目)アカデミック・ライティング2

第11週

(1日目)アカデミック・ライティング:意見文(賛成・反対)1
(2日目)アカデミック・ライティング:意見文(賛成・反対)2

第12週

(1日目)アカデミック・ライティング:統計資料を基に1
(2日目)アカデミック・ライティング:統計資料を基に2

第13週

(1日目)アカデミック・ライティング3
(2日目)アカデミック・ライティング4

第14週

(1日目)自己PR(文章)
(2日目)自己PR(文章)

第15週

(1日目)自己PR(面接)
(2日目)自己PR(面接)

Grading Criteria

Types of Assessment	Weighing	
(1) 授業参加	30%	授業のための予習・復習、及び積極的な授業参加とグループ・ディスカッション
(2) 作文課題	50%	作文課題 6 回 (それぞれ 2 回ずつ提出)
(3) 期末課題	20%	作文課題として提出した「朝日新聞の記事」の記事から一つを選び、それをさらにアカデミック・ライティングに発展させたものを提出 (2 回提出)

Academic Honesty Policy

The instructor of this class takes the issue of academic honesty very seriously. All students' homework/ assessments should be his/her own work alone. No outside help whatsoever is permitted beyond those specified by the instructor. If a student is unsure whether something constitutes a breach or not, it is his/her responsibility to consult with the instructor before submitting the assessment. All breaches of the policy, regardless of the circumstances, will be addressed according to university policies. Please make sure to familiarize yourself with academic honesty policies in iCLA students' guidebook before the first assessment.